

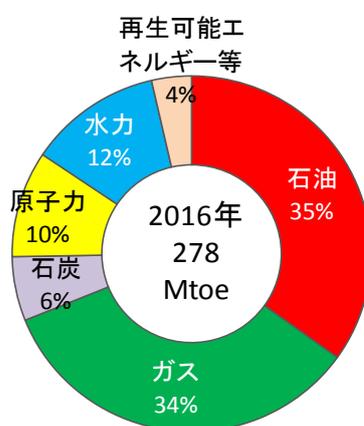
3-2 カナダ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 278Mtoe (日本の0.66倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 7.69toe/人 (日本の2.30倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 171%
- (4) エネルギー起源CO₂排出量 (2015年) : 549.2百万CO₂換算 ton (日本の48.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源CO₂排出量(2015年):15.30CO₂換算 ton/人(日本の170.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年末) : 原油 105.1年、天然ガス 14.3年、石炭 109年

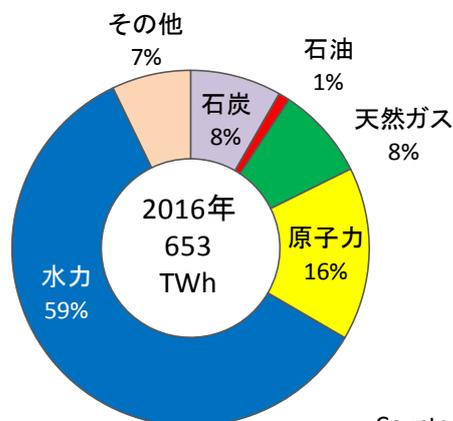
一次エネルギー供給構成 (2016年)



Country: Canada

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

電源構成 (2016年)



Country: Canada

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- カナダのエネルギー政策は天然資源省（Natural Resources Canada:NRCan）が担当している。カナダのエネルギー政策の権限は連邦政府と州政府とに分かれている。連邦政府は主に全般的な枠組み、原子力、エネルギーの州際取引や国際協力に関わる政策の決定権を持つ。州政府は域内の天然資源、電力・ガス規制を管轄する。2017年11月末現在の天然資源大臣は、James Gordon Carr氏である。

(2) 基本政策

- カナダのエネルギー政策の3つの基本原則は、①市場指向、②司法の権限と州政府の役割の重視、③必要に応じて特別の政策目的を達成するために規制等の手段を用いて市場の中のプロセスに目標を持って介入することである。

(3) 最近の動向

- 2017年5月、環境省は連邦政府による炭素税導入の詳細を示した。導入は、2018年からで、初年はCO₂排出量10ドル/ton、毎年10ドル/tonずつ引き上げられ、2022年に50ドル/tonと設定している。また、ガソリン価格へは2.33セント/l、2022年には11.63セント/lが転嫁される。各州の導入計画がこの基準に満たない場合は、強制的に連邦政府案が導入される。
- 2017年11月末現在、国家エネルギー委員会（National Energy Board:NEB）に対してLNG輸出許可申請（米国プロジェクトを除く）が24件なされている。内訳はNova Scotia州3件、Quebec州2件、New Brunswick州1件で、残り18件がBritish Columbia（BC）州のプロジェクトである。なお、プロジェクトの撤退表明が相次ぎ、現状では小規模プロジェクトであるBC州のWoodfibre LNGプロジェクトのみが進行中である。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年3月、核セキュリティサミット出席中の安倍首相は、カナダのTrudeau首相と日加首脳会談を行い、①安倍首相がLNG輸出の早期実現やビジネス環境改善に向けた協力を要請、一方、Trudeau首相は前向きな結果が得られるよう努力するとした。②両首脳は、気候変動問題や軍縮・不拡散についても協議し、引き続き協力することで一致した。
- 2017年8月、AltaGasはBC州で建設中のLPG輸出ターミナルに関して、アストモスと売買契約を締結した。契約では、年間に生産される120万tonのLPGのうち約半分をアストモスが購入する。稼働開始は2019年となる見込み。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Canada

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		278 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		7.69 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.15 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		171 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		549.2 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		15.30 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	6 %
	石油	35 %
	天然ガス	34 %
	原子力	10 %
	水力	12 %
	再生可能エネルギー等	4 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-71 %
(9) 石油の輸入依存度		-131 %
(10) 輸入原油の中東依存度		11.4 %
(11) 原油の輸入先	第1位	米国
	第2位	アルジェリア
	第3位	サウジアラビア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Industry Canada, trade data online